

【入選】常陸太田特別支援学校・小中学部棟

●三上建築事務所・真建築設計室建築実務共同企業体 住所／茨城県水戸市大町三丁目4番36号 電話／029-224-0606
 ●協力事務所 構造／株式会社 三上建築事務所 機械／NASファンリテイアーデザイン室
 ●建物所在地／茨城県常陸太田市瑞電1032番地1 ●建物用途／特別支援学校校舎 ●構造／RC造一部S造 ●建築面積／2,298.79㎡ ●延床面積／3,043.80㎡



4種類の高さのある空間を屋根で覆う

常陸太田特別支援学校の小中学部棟は、樹齢80年の「瑞桜」を取り囲むようにL字型に配置しています。子どもたちをやさしく迎える校舎を目指し、ゆるやかな勾配の寄棟の屋根をかけ、素焼き瓦で葺きました。

敷地内の高低差を解消するため、L字型の校舎の中央に昇降口を設け、バスターrierから屋根のある緩やかなスロープでつないでいます。このスロープは「瑞桜」の脇を通るように計画し、「桜坂」と名付けました。毎日の登下校の時に、子供たちが桜坂から瑞桜を眺めながら四季の変化を感じられるようにしています。

内部は、壁や天井ルーバーに県産材を多く使用し、温かみのある空間としました。床には、教室のゾーンごとにテーパーを設け、子供たちが自分の居場所を認識しやすいようにすることも、明るく楽しい学校生活を過ごせるようにしました。

【入選】茨城育成園

●株式会社 中山大輔建築設計事務所 住所／栃木県宇都宮市インターパーク3-7-603 電話／028-902-8353
 ●協力事務所 構造／小林建築構造設計室
 ●建物所在地／茨城県筑西市茂田1775
 ●建物用途／児童養護施設 ●構造／在来軸組工法木造 ●建築面積／1,017.97㎡ ●延床面積／1,168.55㎡



棟を回廊で廻る事で一体感のある全体構成

児童福祉施設における役割が増える一方で、管理のしやすさを求めた施設としての建物が多く家庭的な環境づくりはまだまだ十分だと感じます。そこで、一般的な家庭と同じ様に子供達が「自分の家」と感じられる木の空間作りが必要だと考えました。

建物はすべての棟が放射線状に配置されていますが、軸線をすらすらと求心性を和らげると共に、中心にやわらかいおにぎり型の中庭を作りだしています。北棟と南棟は主に居住スペースとして、事務棟は地域交流スペース等に使用する事で居住空間の独立性は確保され、各々の棟を回廊で廻る事で一体感のある全体構成となっています。

リズムカルな外見の特徴である高さを変え連続した屋根は、端部の高さを住宅スケールにまで落とし、す事で威圧感を無くし内部空間に落ち着いた印象をもたらしています。この様なスケール感の調節や、木造の温かみある空間が家に居る安心感を与える工夫となっています。

【入選】道の駅常陸大宮〜かわプラザ〜

●株式会社 協和コンサルタンツ 住所／東京都渋谷区笹塚1-62-11 KECビル 電話／03-3376-3229
 ●協力事務所 構造／株式会社 協和コンサルタンツ・澄川建築事務所 電気・機械／株式会社 協和コンサルタンツ
 ●建物所在地／茨城県常陸大宮市岩崎字北川原717番地1他25筆 ●建築面積／3,050.612㎡ ●延床面積／2,759.080㎡
 ●建物用途／道の駅(公衆便所・物販・飲食施設) ●構造／鉄骨造

ふるさとの風景の美しさを再発見する場所

敷地は久慈川の流れに面する美しい里山に囲まれ景観の中にあります。計画では、その立地を生かした風景と調和する施設となるように考えました。

まず久慈川の流れが施設から見える高さに敷地を造成するとともに、久慈川に近づけるように河川敷を親水広場として整備しました。さらに風景と施設の一体感を保持するように、その風景を包括する大きな円弧状に堤防を再整備し、建物とその軸線上にあわせて配置することで風景と関連付けられるようにしています。また、平面においては内外の視覚的な連続性を意識した空間構成をおこない、人の流れを川辺へ自然と導くように計画しています。

これらの、その場所へ呼応するようなひとつひとつの試みが、地域に普通にあつた「ふるさとの風景の美しさを再発見する場所」となるものと考えました。



【入選】石渡産婦人科病院

●有限会社 海谷設計事務所 住所／東京都豊島区目白3-7-6 電話／03-3950-4679
 ●協力事務所 構造／株式会社 海谷建築構造研究所 電気・機械／有限会社 ZO設計室
 ●建物所在地／茨城県水戸市上水戸一丁目4番地21号 ●建築面積／955.08㎡ ●延床面積／2,896.45㎡
 ●建物用途／病院 ●構造／鉄筋コンクリート造

地域の周辺環境、景観上の配慮

西側計画道路完成が成されていない周辺街路を緑豊かな環境の方向へ。敷地境と建物との間に2重のグリーンベルトを入れ、2階の丘にルーファードと6本の桜。寒緋桜、染井吉野など桜を通して地域の共有の出来る場所に育てる。四季折々の花の咲く和みの空間。心温まる日常をつくり出す。道路完了後も4本の桜は生かされることで、将来も持続する環境となる。明るく、温かな雰囲気のある病院づくり。外光を十分に取り込み、視線が抜ける空間、開放感のある室内環境を造り、周囲が緑縁環境で包まれ、目に優しい場所をつくる。全館床暖房、災害時対応は割れない硝子を使用。地域に密着した安心、安全、患者様に喜ばれる環境を整える。

平面構成／待合ロビーを産科と婦人科に柔らかく隔てる。婦人科ロビーに心理的安心感をつくる。ハイサイドライトからの自然光、間接照明の天井の高く落ち着いた場所とする。外来診療部もこれに対応する。各階構成／病棟階を住まいと捉える。

